「日本歯科麻酔学会雑誌」投稿の手引き

日本歯科麻酔学会雑誌への投稿では，投稿規定のほかは本手引きに準拠する．

Ⅰ．投稿方法の概要

1. 原稿は，日本歯科麻酔学会ホームページより Microsoft Office Word（以下 Word）形式の論文テンプレートをダウンロードして作成すること（日本歯科麻酔学会ホームページ→歯科医療関係者の皆様へ→出版物→「ご投稿をされる方に」を参照）．
2. 論文テンプレートの表紙に必要事項を記入し，次のページより，要旨（臨床報告，技術・技法では不要），本文，謝辞，利益相反，文献，英文抄録（技術・技法では不要），図表説明（または各図表内へ記載）の順に 1 ページ 40 字×25 行で記載する．

   （記載例）

   ・原著論文の場合

   要旨，本文，謝辞，利益相反，文献，英文抄録，図表説明の順に記載する．

   本文はⅠ．緒言，Ⅱ．方法，Ⅲ．結果，Ⅳ．考察，Ⅴ．結語の順に記載する．

   ・総説，調査・資料，解説・記事の場合

   要旨，本文，謝辞，利益相反，文献，英文抄録，図表説明の順に記載する．

   ・臨床報告の場合

   本文，利益相反，文献，英文抄録，図表説明の順に記載する．

   本文はⅠ．緒言，Ⅱ．症例，Ⅲ．経過，Ⅳ．考察，Ⅴ．結語の順に記載する．

   ・技術・技法の場合

   本文，利益相反，文献，図表説明の順に記載する．

   また以下の項目について，論文中に記載すること．

   ・倫理審査委員会や動物実験委員会の承認，臨床試験登録番号（方法に記載）．

   ・患者あるいは代諾者の書面等での同意（本文の文末に記載）．

   ・過去に本論文の要旨について発表した学会名（本文の文末に記載）．

   ・国外の英文誌に掲載された論文の二次出版論文である場合，一次出版物の書誌情報を示し，二次出版物であることを明記する（本文の文末に記載）．
3. Table, Fig.のファイル（Excel，PowerPoint，JPEG など）を論文テンプレートのファイルとは別ファイルとしてアップロードすること．JPEG データを用いる際の画像解像度は，写真は 300 dpi 以上，線画は 1,200 dpi 以上とする．
4. 誓約書，利益相反自己申告書（様式 1）を日本歯科麻酔学会ホームページよりダウンロードし，必要事項を記載・捺印のうえスキャンし，pdf 化する．
5. 投稿時は，①論文（Word），②Table，③Fig，④誓約書（pdf），⑤利益相反自己申告書（様式 1，pdf），⑥連絡先等情報（Excel）を ScholarOne の査読システムにアップロードする．

Ⅱ．投稿原稿の書き方

1. 原稿は横書き，新かなづかい，常用漢字を用い，改行の際は冒頭を 1 字分あけること．
2. 原稿第 1 枚目（表紙）は論文種別，和文表題，和文の所属機関名，著者名，和文キーワード，図表数，英文抄録語数とする．原稿第 2 枚目から要旨，本文の順に書くこと．

3. 表題が 40 字を超える場合，ランニングタイトルとして 40 字以内の論文題名を入れる．
4. 図表は原則として英文で作成する．ただし，論文の内容(アンケート調査等)によっては和文も可とする．
5. 英文抄録ページは，表題(および副題)，所属機関名，著者名(姓は大文字)，抄録本文，Key–words，Address correspondence to の順序で書く．また論文には英文の Key–word (5 words 程度)をつける．
   （例　Key–words: ANEMIA，DESFLURANE，DIFFICULT INTUBATION，GENERAL ANESTHESIA）
6. 所属機関名は和文，英文ともに必ず公式の名称を用いる．

Ⅲ．引用文献の記載法

1. 本文で引用した順に一連番号を付して列記し，本文末尾に記載する．本文中の該当箇所にも右肩に数字で片括弧をつけて示す．同一箇所で複数引用した場合は年代順とする．
2. 著者名は姓，名（外国語表記の場合はイニシャルのみ）の順とする（例：Iijima T)．
3. 共著の場合は筆頭著者を含め 5 名まで列記し，6 人目からは「ほか」あるいは[et al.]と略す（例：住友雅人，嶋田昌彦，一戸達也，宮脇卓也，飯島毅彦ほか）．
4. 引用文献の表記は原著の表記に従う．
5. 雑誌の略名は当該雑誌で規定されている略称とする．それ以外は医学中央雑誌，外国雑誌は NLM スタイルに準拠した略名を使用する．
6. 受理されたが未発刊の論文は，末尾に印刷中（英文の場合は in press）と記載する．
7. 他書誌より転載した図表については，著者が責任をもって必要な許諾を取ること．また転載した各図表の説明文の下に出典を明記すること．
8. 文献の記載例

a. 雑誌論文

著者: 表題. 雑誌略名，発行年(西暦)；巻(号): 開始頁–終了頁.

例 1) Kohzuka Y，Isono S，Ohara S，Kawabata K，Kitamura A，et al.: Nasopharyngeal tube effects on breathing during sedation for dental procedures: a randomized controlled trial. Anesthesiology, 2019; 130(6): 946-957.

例 2）藤澤俊明，水田健太郎，望月　亮，松村朋香，立浪康晴ほか: 歯科医院における院内救急体制の整備状況に関する全国実態調査．日歯麻誌, 2022; 50(2): 52–65.

b. 単行本

著者: 書名（版表示）．出版社名，出版年（西暦）；引用開始頁–終了頁.

例 3）藤田恒太郎: 人体解剖学（第 42 版），南江堂, 2003; 125-130.

c. 分担執筆による単行本

著者（筆頭者のみ）: 章題名. 監修者名または編集者名（筆頭者のみ），書名（版表示），出版社名，出版年（西暦）；引用開始頁–終了頁.

例 4) Artime CA et al.: Airway management in the adult. In: Gropper MA (ed), Miller's Anesthesia (9th ed.), Elsevier, 2019; 1373-1412.

例 5）北畑　洋: 循環系疾患．福島和昭監修，歯科麻酔学（第 8 版），医歯薬出版，2019; 325-344.

d. 翻訳単行本

原著著者（筆頭者のみ）：翻訳者（訳），翻訳単行本名（版表示），出版社名，出版年（西暦）；引用開始頁–終了頁.

例 6) Miller RD: 武田純三（監訳），ミラー麻酔科学，メディカルサイエンスインターナショナル, 2007; 315-324.

e. 電子版掲載文献(印刷体に先行して PubMed などのデータベースに電子出版されたもの)

著者: 表題. 雑誌略名，doi 番号，電子出版（Epub）年月日.

例 7) Pavel MA, Petersen EN, Wang H, Lerner RA, Hansen SB: Studies on the mechanism of general anesthesia. Proc Nat Acad Sci USA, doi: 10.1073/pnas.2004259117. May 28, 2020.

f. オンラインジャーナル（印刷体が出版されずオンラインのみで公表されるもの）

著者: 表題. 雑誌略名，年; 巻（号）： 頁，doi 番号.

例 8) Mapelli J, Gandolfi D, Giuliani E, Casali S, Congi L, et al.: The effects of the general anesthetic sevoflurane on neurotransmission: an experimental and computational study. Sci Rep, 2021; 11: 4335, doi: 10.1038/s41598-021-83714-y.

g. Web サイト上の文献

著者(または発行元): Web ページの題名. Web サイトの名称，更新日付（不明の場合省略可），入手先 URL（参照年月日）

例 9) 日本歯科麻酔学会ガイドライン策定委員会編: 歯科診療における静脈内鎮静法ガイドライン改訂第 2 版. 日本歯科麻酔学会, 2017-03, https://minds.jcqhc.or.jp/docs/minds/guideline_intravenous_sedation02/guideline_intravenous_sedation02_rev.pdf (参照 2022-09-01)

例 10) American Society of Anesthesiologists: ASA and APSF statement on perioperative testing for the COVID-19 virus. https://www.asahq.org/about-asa/newsroom/news-releases/2022/06/asa-apsf-statement-on-perioperative-testing-for-covid (accessed Sep 23, 2022).

h. 研究報告書

著者（筆頭者のみ）：報告書名. 発行所，発行年; 引用開始頁–終了頁.

例 11) 河口 豊: 阪神・淡路大震災による病院被災に関する調査研究報告書(平成 7 年度健康政策調査研究事業). 国立医療・病院管理研究所, 1996; 77–79.

IV. 用語について

1. 薬品名は原則として一般名を用い，表記は日本語を用いること(日本薬局方参照).
2. 機器名を商品名で記載する場合，®または ™ を付記すること.
3. 用語は日本麻酔科学会編「麻酔科学用語集（最新版）」および日本医学会医学用語管理委員会編「日本医学会 医学用語辞典（WEB 版）」に準拠すること．文中の外国語は人名などを除き，できるだけ前記 2 書の訳語を用いること.
4. 外国の人名は原則として原語を用いること.
5. 年号表記は西暦とすること.
6. 単位記号は原則として国際単位系(SI)を用いる．ただし，日常臨床において広く用いられている%，mmHg，cmH_2O，mL，dL, U/L 等による表記も認める.

例) m, cm, mm, μm, nm, cm^2, mL, dL, L, kg, g, mg, μg, ng, mol, mmol, nmol, ℃, %, g/L, mmol/L, μmol/L, nmol/L, pmol/L, IU/L, Torr

数値と単位の間には必ず半角スペースを入れること(℃と%を除く). また, 除算はすべて「10 mg/kg/h」「3 L/min」のように表記すること.

7. 心拍数, 呼吸数, 脈拍数の単位の表示は以下の様式とする.

<和 文> 心拍数・脈拍数　回/分 呼吸数 回/分

<英 文> 心拍数・脈拍数 beats/min 呼吸数 breaths/min

V. 論文種別毎の規定（本誌投稿規定より転載）

論文の種別	文字数（本文+図表）	図表	要旨	文献	英文抄録	刷上り規定ページ数
総説	8,000 字以内	10 個以内	600 字以内	50 編以内	250 word 以内	8 ページ以内
原著論文	8,000 字以内	10 個以内	600 字以内	50 編以内	250 word 以内	8 ページ以内
臨床報告	5,000 字以内	5 個以内	なし	20 編以内	250 word 以内	5 ページ以内
技術・技法	3,000 字以内	3 個以内	なし	5 編以内	なし	3 ページ以内
調査・資料	8,000 字以内	10 個以内	600 字以内	50 編以内	250 word 以内	8 ページ以内
解説・記事	6,000 字以内	7 個以内	400 字以内	50 編以内	250 word 以内	6 ページ以内

＊図表を用いる場合は, 雑誌掲載時の片段標準の大きさ(横 8 cm×縦 5 cm)1 点につき本文 400 字程度を減じること.

＊カラーの図は全てカラーで掲載する（カラー料金無料).

VI. 論文掲載料・別刷代

論文種別毎の掲載料, 別刷代は以下の通りである.

論文の種別	掲載料	英文添削代	別刷代
総説	無料	無料	30 部まで無料
原著論文	刷上り 2 ページまで無料 超過ページは 1 ページ×11,000 円 全ての図版代（写真を含む）は実費	有料（実費）	有料
臨床報告	ページ数×11,000 円 全ての図版代（写真を含む）は実費	有料（実費）	有料
技術・技法	ページ数×11,000 円 全ての図版代（写真を含む）は実費		有料
調査・資料	無料	無料	有料
解説・記事	無料	無料	有料

＊掲載料：1 ページあたり 11,000 円（税別）

＊別刷代

カラー無：表紙代 5,500 円+一部 220 円（税別・送料別）

カラー有：表紙代 5,500 円+一部 330 円（税別・送料別）

例：50 部・カラー無の場合 ＝5,500 ＋ 220×50 =16,500 円

50 部・カラー有の場合 ＝5,500 ＋ 330×50 =22,000 円

＊本学会および本学会に関連する事業に係る論文掲載料は無料とする.

＊必要に応じて英文添削代を請求する. なお受理後に英文添削証明書を添付することでこれに代えることができる.